

## 関西大阪万博2025: 豪州館イベント及びショー

EXPO2025にて豪州原子力科学技術機構(ANSTO)主催の専門家パネル及びネットワークイベント「食の出所を解明する」とクイズ形式でANSTOの最新分析技術を紹介する「フィッシュショー(全6回)」が開催された。イベントでは日本での食品産地偽造に関する現状やその社会的影響も扱われ、教育の重要性や国民全体としての意識改革が強く求められること等が意見された。



2025年10月9日(木)-10日(金)飯本、渡部 ANSTO推薦で豪州政府からの招待を受け、イベントで意見するなどの貢献をした。

## 京都大学複合原子力科学研究所KUR施設等視察会

KURは1964年に初臨界に到達し、以後定格出力の上昇や周辺実験設備の更新を行いながら運転を続けてきたが、2026年5月をもって運転を停止することになった。KURが果たしてきた教育研究での役割は広く大きく、いわゆる原子力分野だけでなく理学、工学、医学、農学、社会学など様々な研究分野にわたって最先端の研究成果の発信や人材育成に貢献してきたといえる。今後福井県敦賀市の「もんじゅ」サイトに新試験研究炉が設置されることも決定しており、新試験研究炉に導入する実験装置の設計や運用について検討もはじまっている。



長年にわたって東京大学と京都大学間の共同研究の枠組みで実施されてきた安全研究の理念にSTIFは賛同し、同活動との調和をとりつつ、関連する同施設の研究者(高宮幸一教授(写真左下)ら)との意見交換を実施した。今後、より広い視点で、原子力研究施設の発展と人材育成等の分野で協力することで合意した。



2025年12月2日(火)飯本、土肥 2026年3月26日(木)(飯本、副島、吉田) 2026年に共同利用運転を停止するKUR施設を視察すると共に、原子力・放射線関連施設の運用と廃止、安全管理にかかる技術の開発と知見の展開、人材育成について議論した。